

9月23日(日)開催 第3040回例会
楽しく学べる植物観察会 パートⅡ
「つくはら湖周辺の草花を観察」へ参加
布引支部 M.!

9月に入って台風21号が関西を直撃し、大きな被害を出したかと思えば、厳しい残暑が戻ってきたり、はたまた秋雨前線の停滞による長雨が発生したりと、例年にはない不順な天候が続きましたが、幸いにも例会前日昼から天候も回復し、当日は快晴とは言えませんでした。雨の心配もなく、暑くもない、ほどよい天気のもと植物観察会が開催されました。



出発前のミーティング風景

神鉄箕谷駅に9時20分に集合。そこから市営バスに乗り、終点のつくはら湖バス亭で下車。簡単なコース説明や、植物観察についての注意点を聞き、ループの貸し出しを受けた後、2名のインストラクターの先生方に導かれて、バス停を出発。およそ5分で行くつくはら湖に到着し、そこから、湖に沿ってついでサイクリング道を歩きながら、周囲の草花や樹木の観察を行



図鑑と照らし合わせながら解説されるN講師

いました。



ヌスビトハギ

参加者は各自自由に2名のインストラクターに従い、熱心に説明を聞いたり、質問をしたり、時にはルーペで花の内部や実の付き方などを観て、植物に対する知識を深めていきました。(年齢のせいかなかなかその知識が記憶されていかないのは残念ですが・・・)

往復4キロある湖沿いのサイクリング道を歩いて数時間、まだまだ沿道は続くのですが、道沿いで昼食休憩を取りました。毎回のことですが、昼食中に女性参加者の多くから手料理のほかリンゴやナシ、ブドウ、プチトマトなどが絶え間なく差し出され、有難く頂戴しました。これだけでも今回の観察会に参加してよかったと感じました。いつもありがとうございます。



クサギ

昼食後、来た道を折り返し、2時前につくはらバス亭に到着。2時半前の箕谷行きのバスで帰途に付きまして。



Y 講師の説明を熱心に記録する S さん

今回の観察会で目に付いたものとして、まずクサギやゴンズイの実が赤く熟して色付いているのが散見され、紅葉前の地味な樹木群の中で目立っていました。またマメ科のマルバハギやツクシハギなど萩類が本格的に咲き始めて



マルバハギ



花をつけたイタドリ

おり、これからもきれいな花が期待できるでしょう。その他目立たない草花が今回多かったのですが、イタドリの雌雄花の違いや各種センダングサの見分け方、つる性のノブドウやアオツツラフジ、カエデコロなどの特徴を詳しく丁寧に説明をしていただきました。それにしても

観察会に参加するたびに感嘆するのですが、インストラクターの先生方がお持ちのあまりにも豊富な知識、知見には驚くばかりでした。



メリケンムグラ

ただ残念ながら秋によく見かけられる草花で今回見られなかったものもいくつかありましたので、今度は個人で見つけに行ってみたいと思いました。個人的に好きな草花としてツリフネソウ、アケボノソウ、センブリやヤマジノホトトギスなどがありますが、近シーズン中にぜひどこかで見たいと思っています。



カナムグラの葉（カッコいいアクセサリーです！）

最後に、今回の観察会開催にご尽力いただきました吉野会長はじめ、2名のインストラクターの先生方、企画して頂いた方々、そして参加のメンバー各位に感謝致します。

ありがとうございました。

天 候 晴れ

参加者 23 名（内当会員 20 名）

写真協力 布引支部/松本良一 吉野 宏